

小児・AYA がんトータルケアセンター

■ スタッフ

センター長	(小児科医)	澤田 博文
副センター長	(小児科医)	天野敬史郎
副センター長	(小児看護専門看護師)	河俣あゆみ
センター員	(小児科医)	淀谷 典子
センター員	(看護師)	末藤 美貴
センター員	(看護師)	井倉 千佳
センター員	(看護師)	森田 美幸
センター員	(看護師)	河野 芽依
事務員		山下 由貴
事務員		金山 伊都

■ 特色・診療対象疾患

本センターは、入院中および外来の子どもや家族に対する医療の相談活動と共に、在宅・学校など病院外で生活する子どもや家族の生活支援のための地域連携や多職種からの相談活動や教育的支援を行っています。特に医療的ケアを要する在宅で生活する子どもや小児がんおよびAYA がんの子どもと家族への支援を行います。医療的ケア児やがんの子ども在宅訪問診療、看護の実践をしています。

【小児在宅部門の活動】

1. 在宅移行支援・在宅生活支援

・在宅移行支援・在宅生活支援：NICU 看護師、小児病棟看護師、当センター看護師とMSWが1回/週、在宅支援カンファレンスを実施しています。総数は33名でした。

2. 訪問活動の実績

・訪問診療・訪問看護
当センター医師及び看護師による訪問診療・看護を実施しています。小児在宅指導・加算算定点数計は4,737,913点でした。
呼吸器使用児の在宅訪問や小児がん終末期の訪問診療・往診を計21回行いました。

・小児支援部会の開催
月1回、在宅移行・在宅生活中の子どもに加え、今年度よりAYA がん患者に関する検討も行い、子ど

もと家族支援について、多職種による検討を行っています。地域医療機関・関係施設との研究会を開催し、顔の見える関係作りをしています。

3. 相談活動・地域連携

・相談活動
 ≪院内≫
 医師・看護師・薬剤師からの相談が602件ありました。
 ≪病院外≫
 病院外からは、家族、保健師、訪問看護ステーション、他医療機関などから103件の相談がありました(家族を除く)。

相談件数合計	件数 (件)
院内	602
医師 (院外)	10
家族	70
本人	15
保健師	8
訪問看護師・園看護師	38
相談支援専門員	5
薬剤師	5
他医療機関	2
学校	7
その他 (行政・業者等)	28

・地域連携
 ≪三重県小児在宅研究会の開催≫
 小児在宅支援に関わる多職種や関係機関と小児在宅研究会を通じて、顔の見える関係づくりと連携を図っています。
 ≪児童虐待相談部会≫
 事例検討を通じて児童相談所や保健師と連絡・調整を行っています。

4. 三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ

・三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ
 月1回、三重県庁にてセンタースタッフと三重県ワーキングメンバーによる三重県における小児在宅の充実について話し合いを行っています。
 ≪三重県ワーキングメンバー≫
 三重県
 医療保健部 医療政策課
 健康推進課
 長寿介護課

子ども・福祉部 子どもの育ち支援課
障がい福祉課
三重県教育委員会 特別支援教育課

幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：29名

・令和5年度 医療的ケア児・者の地域ネットワーク
におけるスーパーバイズ機能推進研修会

対象：多職種

参加者：(第1部) 30名 (第2部) 49名

・第13回にじいろネット

対象者：多職種

参加者：94名

・令和5年度 医療的ケアを要する重症児・者の地
域ネットワーク連携研修会

対象者：多職種

参加者：106

・障害福祉サービス等事業所等職員向け医療的ケ
アスタートアップ・技術スキルアップ研修会

全4回開催 参加者：49名

・保育所・幼稚園等及び学校に勤務する看護師と
養護教諭のスキルアップ研修会

全1回開催 参加者 21名

5. 教育活動の実績

・令和5年度第1回小児在宅看護研修会

テーマ：小児在宅看護の基礎知識・医療的ケア
初期研修会

対象：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼
稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師

参加者：28名

・医療的ケア児・者コーディネーターフォローアッ
プ研修

対象：医療的ケア児・者コーディネーター養成
研修終了者

参加者：58名

・第8回小児がん診療体制における東海北陸ブロ
ック多職種連携研修会

対象：東海北陸ブロック多職種

参加者：64名

・第13回三重県小児セラピー研究会

テーマ：スペシャルニーズのあるこどもの食育を
支える～科学的アプローチから学ぶ～

対象者：多職種

参加者：198名

・第8回三重県小児在宅医療実技講習会・講演会

テーマ：小児在宅医療の実際と実技講習

対象者：(第1部) 医師・訪問看護師

(第2部) 多職種

参加者：(第1部) 46名 (第2部) 50名

・第12回にじいろネット

対象者：多職種

参加者：107名

・第23回三重県小児在宅研究会

テーマ：医療的ケア児支援法の見直しに向けて

対象者：多職種

参加者：89名

・第14回三重県小児セラピー研究会

テーマ：未来の扉を開く伴走型小児セラピスト
の役割～利用者のメッセージから学ぶ～

対象者：多職種

参加者：98名

・令和5年度第2回小児在宅看護研修会

テーマ：『子どもの活動の幅を広げる看護』

～これからのぼく・わたしのワクワクに
向けて～

対象者：訪問看護師、病院看護師、学校看護師

【AYA がん部門の活動】

1. AYA がん患者に関する相談活動

AYA 支援チーム活動を通じて、49名の患者に対する
相談を受けました。相談内容は心理的支援、教育支
援、在宅生活支援、就労支援、家族支援でした。

2. 教育活動の実績

AYA がん研修会を隔月1回開催継続しています。

・第18回：“AYA 世代のがん” はじめの一歩

・第19回：事例検討⑤整容的・心理社会的支援

・第20回：三重大学小児科での長期フォローアップ体制

～AYA世代こなつた小児がんサバイバーの支援～

・第21回：事例相談⑥～家族支援～

・第22回：事例相談⑦

～若年成人期の子宮頸がんの患者支援～

・第23回：事例相談⑧

～A世代白血病患者の自立支援～

・第24回：AYA 世代がん患者の診療支援

～これからはじめるみなさんへ～

に知っておきたいこと～

<https://child-aya.med.mie-u.ac.jp/>